



# 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
 平成18年 7月28日

財団法人 建材試験センター  
 中央試験所長 勝野 幸  
 埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702-1
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物              名称：木造建築用筋かい金物              商品名：2倍筋かい&lt;リベロ&gt;              用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物              取付位置：梁から高さ170mm及び土台から高さ200mmの位置の壁体内に設置              取付方法：筋かい金物の内側に筋かいを設置して緊結（図-1参照）              寸法：97.3×120×32.3mm，厚さ2.3mm（図-3参照）              材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具              木ねじ：TB-45，筋かい側7本使用              長さ：44.8mm，ねじ部の長さ：40.65mm，ねじ部の外径：5.1mm              谷の径：3.3mm，ねじ山のピッチ：3.18mm，ねじ先の形状：とがり先              材質：SWCH 18A (JIS G 3507-2)              表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)              TB-66D，柱側6本使用              長さ：65mm，ねじ部の長さ：54mm，ねじ部の外径：6mm              谷の径：3.7mm，ねじ山のピッチ：3mm，ねじ先の形状：とがり先              材質：SWCH 22K (JIS G 3507-2)，表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>3. 使用軸組等（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m）              梁：べいまつ，105×180mm，土台及び柱：すぎ，105×105mm，間柱：すぎ，30×105mm              筋かい：Hem-Fir (N)，45×90mm，床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ30mm</p> <p>4. 試験体数 3体              参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p><b>1mあたりの基準せん断耐力：3.0kN，終局変形角<math>\gamma_u</math>の平均値：1/15rad</b>              耐力算定基礎資料等：表-2～表-4              荷重-せん断変位包絡線の比較：図-4              荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-5～図-11              破壊状況：写真-1～写真-4</p>
備考	<p>当該試験結果から，厚さ30mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は，木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による1mあたりの基準せん断耐力は2.94kN以上（筋かい断面45×90mm），かつ，終局変形角<math>\gamma_u</math>は1/30rad以上であることが明らかとなったため，  <b>平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。</b></p>
試験期間	平成18年 5月26日
担当者	構造グループ 試験監督者 川上 啓 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 渡 辺 一 ， 高 橋 慶 太
試験場所	中央試験所